

平成 29 度 第 4 回一般社団法人三重県作業療法士会定例理事会議事録

日時：平成 29 年 6 月 9 日（金）19:35～22:20

場所：松阪中央総合病院

出席者：田中一彦、佐藤明俊、松本周二、橋本昌弘、石崎健、宮坂裕之、山本泰雄、
井手洋平、上西徹、島崎博也、岡道生、牧野有華（以上理事）

書記：野口佑太

<協議事項>

1. 平成 29 年度部局長推薦について
会長より役員案が提出される 承認

2. 役員、部員の委嘱状について
平成 29 年度の名簿より 7 月登録時点の役員、部員に対し作成。
基本的には個人宛、申請があれば施設長宛に送付することは可能。
部員の任期は原則 2 年。日付を 4 月 1 日～3 月 31 日とする。
途中で部員になった場合は、適宜作成する。
各部長が現時点でのメンバーの所属を確認。
新規委員会の部員については組織部に確認して重複しないように配慮。例外として重複する場合あり。
過去の委嘱状交付については、個別対応する。 承認

3. 会員組織率調査について
協会システムと照合し組織率を出していく。(9 月末日を目標に)
上半期で実態調査、下半期で入会を催促予定
事務局業務のひとつとして取り組む 承認

4. 拡大理事会開催日
平成 29 年 9 月 2 日（土）13:00 よりユマニテク医療福祉大学校にて開催 承認

5. 三士会長会議に対する提案事項について
平成 29 年 6 月 28 日（水）19:30～鈴鹿医療科学大学にて開催
田中会長、佐藤副会長、山本理事が出席予定
<提案事項>
三重 PT 士会、三重 ST 士会の組織率の確認をどのようにおこなっているか
新設した委員会の紹介を行う
講師料の 2 割を情報センターへの資金とする方向については、今後要検討 承認

6. 特別支援教育対策アンケートについて
発達支援作業療法推進委員会の熊谷氏を中心に作成する。 承認

7. 三重大学病院より緩和ケアセミナーの後援依頼について

後援する

承認

8. 広報部より

県士会ニュースの HP 掲載について

永田監事より県士会 HP への掲載案が届く

内容を全て掲載すると、広報誌の配布先は県関連に絞り込めコスト削減に。承認

編集費について

編集を業者に依頼か OT 会員で行うか。

業者編集の方が見やすくなる。現在の編集先では 3 号作成するのに 18 万円の編集費がかかる。いいものを作ろうと思うと編集費がかさむ。

作業所や事業所等ではどうか。今年中に決めたい。保留

賛助会員への広報誌原稿依頼について

初回は企業紹介等無料で掲載

それ以降は、原稿依頼をする場合は無料、原稿掲載要望があれば規約に合わせ有料掲載する。承認

9. 作業療法啓発部より

イベント参加の交通費について：謝金の有無に関係なく、交通費と弁当代を支給する。ただし、交通費や弁当代としての支給がある場合には県士会からは支給しない。

県士会への謝金に関してはその都度連絡して、県士会へ入金する。各個人への謝金の場合個人に支給する。今年度より謝金などの金額の記録もしていく。

そこから、今後はリハレンジャーに協力してくれた方には何か提供できるように検討していく。承認

赤堀人権フェスタの参加可否について

日程：平成 29 年 10 月 22 日（日）

記念開催のため参加協力していく。次年度は検討する。承認

10. 運転と作業療法の特設委員会

各県士会の担当者は大阪会場での研修。協会から参加費支給。宮坂氏参加予定。

アンケートが必要となるため、中勢・南勢はブロック長に連絡し、メールに添付してもらう。北勢は電話連絡網で連絡し、HP 上からダウンロードして宮坂氏にメールに添付する。締切りを 8 月末とする。承認

<報告事項>

1. 一般社団法人日本作業療法士協会 平成 29 年度定時社員総会報告

平成 29 年 5 月 27 日（土）東京

田中会長、松本副会長、佐藤事務局長（委任状）

総会前に会長表彰：1 名、特別表彰：2 名ありました。

総会に関して、平成 28 年度のご逝去者 20 名。

活動報告、選挙について定員オーバーにより 5 名落選。

現時点では未公表。

地域包括ケアの重点化、効果的かつ効率的なものの活動と参加の視点をいかしていく。
作業療法の定義について、大きく変化するかもしれません。
養成施設の指定規則の変更。単位数や教員数などの改訂。需給計画の見直しがされていく予定。

協会員イコール県士会の会員とする。徴収方法も変更となる可能性。要検討。
事務局強化、京都にサテライト事務所を設立予定。

(一社)日本作業療法士協会の予算が約8億円、会員のバーコード管理。
認定OT、専門OTが少ない。三重県は少ない。

2. 新規会員施設報告

地区担当に連絡して電話連絡網に追加する

新規施設を確認して各ブロック長に連絡する。

(新規施設が分かる場合は事務局に連絡する。)

6月末までに財務部で新規施設を確認する。

県士会への未加入のOT在籍施設に関してどのように対応していくか。組織部で検討が必要。未加入のOTがどの程度いるのかを把握する必要がある。

会員数と未会員数の割合の把握を。

入会申込み者の承認を常任理事会で行う。

3. 地域電話連絡網の作成締め切りについて

平成29年7月31日(月)締め切りとする

4. 平成30年度総会日程について

平成30年5月13日(日)

三重県総合文化センター内生涯学習

大会議室、レセプションルーム、視聴覚室、4階の4部屋を確保

5. 広報部より

広報誌の内容について

県士会の広報誌を確認し、話し合いを行った。

1) 新人紹介、2) 各ブロックからの報告、3) 質問コーナー、4) 150、200号などでの記念号を発行、5) OT協会のポスターを年1回行う、6) 勉強会の詳細内容、7) 文献の紹介、8) 新理事の挨拶や紹介、9) 賛助会員に記事を書いてもらう：リハビリに関連した内容など、10) 研修会などの案内：QRコードをのせる

Q&Aと文献紹介を合わせていくとどだろうか。先輩が参考になっている文献や書籍を紹介。進めていく。理事には回答での協力をお願いします。

新人紹介について、来年度は総会後に北勢、中勢、南勢の1名ずつコメントをもらい、紹介する。要検討。

6. 学術部より

- ① 第1回研究・発表支援研修会について
参加者：14名
大変良かった13名、良かった1名
- ② 第2回研究・発表支援研修会開催について
平成29年7月23日（日）
6月6日時点で5名参加予定
- ③ 平成29年度一般社団法人三重県作業療法士会定時社員総会時勉強会について
整形外科分野35名、精神科分野14名、MTDLP18名、認知症分野36名
合計103名
事前に準備する部数について、既存の会員と新規会員の両者の希望を聴取できるように用意が必要。次年度に向けて書式変更。

7. 作業療法啓発部より

- ① 大台町より
「どーんと健康・福祉・介護・医療・エコフェスティバル」参加へのお礼あり
平成29年5月28日（日）
参加者：8名（レンジャー5名、司会1名、記録1名）
- ② 参加スタッフへの礼状ポストカードの送付を開始した
基本的には作業療法室長宛てに郵送。参加施設名を記載。
- ③ PT・OT・ST 合同啓発イベント「看護・医療フェスタ2017」への参加について
平成29年9月17日（日）鈴鹿医療科学大学にて開催
現在PTとの折衝まち。詳細がまだ決まっていない
7月上旬には実行委員を招集。時間は3時間程度。
- ④ 啓発部員の追加
小山田記念温泉病院から1名検討している
- ⑤ 平成29年6月10日（土）ふれあいスポレクに6名参加予定

8. 平成28年熊本地震 JRTA 活動検証・研修会
～現場でやるべきこと、平時にやるべきこと～
案内届く

次回理事会日程

日時：平成29年7月14日（金）19:30～21:30 場所：ユマニテク医療福祉大学校